JR東日本ニュース

２０２５年５月２０日
東日本旅客鉄道株式会社
首　都　圏　本　部

上野駅グランドコンコースのリニューアルを推進します
～東京藝術大学が修復プロジェクトに協力～

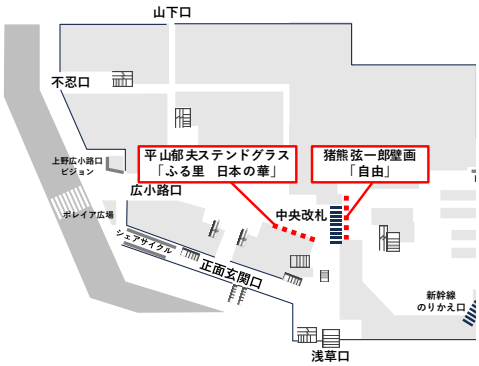
〇東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区/代表取締役社長：喜勢　陽一）は、「Beyond Stations 構想」のモデル駅である上野駅において、「文化創造 HUB」をコンセプトに掲げ、リニューアルを推進しています。
〇今回、グランドコンコースの猪熊弦一郎（いのくまげんいちろう） 壁画「自由」と平山郁夫（ひらやまいくお） ステンドグラス「ふる里　日本の華」を、上野駅の価値ある資産として残すため、東京藝術大学と連携して修復・補修に着手します。
〇また、みどりの窓口や駅たびコンシェルジュなどの駅施設のリニューアルを実施し、駅空間の安全性・快適性向上と共にインバウンドのお客さまの利便性向上を図ります。

1. アート作品の修復・補修について

グランドコンコースのリニューアルに合わせて、現在設置されている壁画とステンドグラスの修復・補修を行い、上野駅とともに歩んできたアート作品を上野駅の価値ある資産として次代へ継承していきます。

アートを愛し継承事業にご賛同いただける方に参画いただけるよう、クラウドファンディングを実施します。

上野駅グランドコンコース



上野駅１階　配置図

(1)猪熊弦一郎　壁画「自由」の修復

・中央改札上にある猪熊弦一郎壁画「自由」は1951年に制作され、北の玄関口である上野駅を長年にわたり見守ってきました。

・包括連携協定を締結している東京藝術大学の協力のもと、前回2002年以来3回目となる修復を実施し、2025年度末の完了を予定しています。

（参考）2023年6月29日発表：東京藝術大学と包括連携協定を締結します

猪熊弦一郎　壁画「自由」

（2）平山郁夫　ステンドグラス「ふる里　日本の華」の補修

・自動券売機上にある平山郁夫ステンドグラス「ふる里　日本の華」は、1985年に東北・上越新幹線の上野駅開業を記念して東京藝術大学の平山郁夫教授（当時）が原画を描き下し、制作・監修をした作品です。

・補修作業は2025年夏ごろに着手し、再設置は2026年度中を予定しています。

平山郁夫 ステンドグラス「ふる里　日本の華」

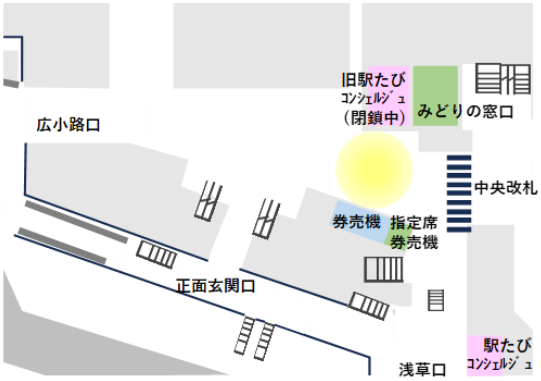
※各工事スケジュールは状況により変更の可能性があります。

2. 駅リニューアル工事について

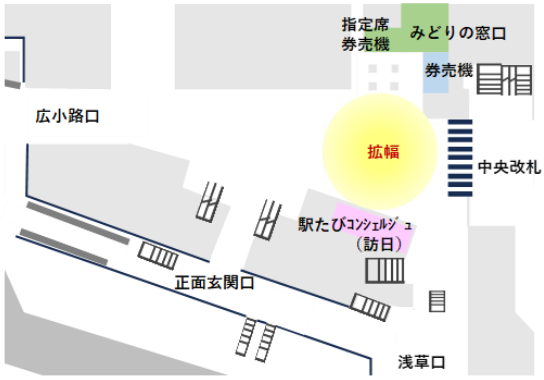
・1932年から時代を超えて愛されてきた中央改札前のグランドコンコースの大空間が、改札付近の駅施設の段階的なリニューアルにより、コンコースが拡幅され、開放的で快適性の高い空間に生まれ変わります。

・みどりの窓口や駅たびコンシェルジュ、有人改札などのレイアウトを変更し、チケットサービスと訪日旅客向けサービスのゾーニングを明確に分け、利便性向上を図ります。

・このほか、耐震補強工事や防災設備整備工事を推進し、駅の安全性向上を図ります。

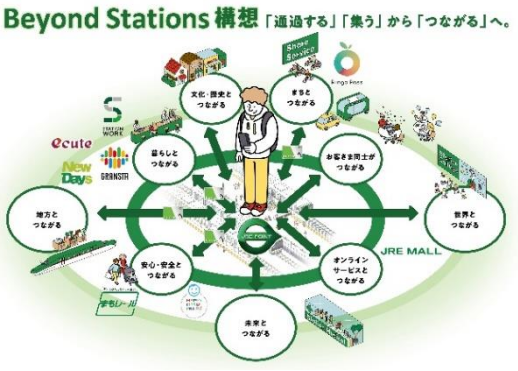


現在のレイアウト



２０２６年春予定のレイアウトイメージ

【参考】「Beyond Stations 構想」が目指す姿

ヒトの生活における「豊かさ」を起点として、リアルの交流拠点である駅の強みを活かしながら駅空間の配置と機能を変革し、駅を「交通の拠点」から「暮らしのプラットフォーム」へと転換する構想です。

モデル駅の上野駅では、駅の歴史資源を生かしながら、私たちだからこそ提供できる「心豊かな生活」を実現してまいります。